

シリーズ市民 14 いやなことは バレーボールで忘れちゃう

高木家のみなさん。左から夫の利光さん、長男嵐希(かずき)くんと3男翔平くん、次男の哲也(てつや)くんとひろみさん。早朝サッカーのスポーツ家族です。

スポーツ一家なんですよ。私はバレーボール、主人と子供たちはサッカーをやっています。子供の頃からスポーツが好きで、バレーボールをずっとやってきましたから、忙しくても、これだけは続けていきたいと思

うているんです。それに主人と知り合ったのも、バレーボールがどりも縁だったんですね…。

婦人スポーツクラブでバレーボールをやっているんです。スポーツをする人は気持ちがさっぱりしていて、とっても楽しいですね。

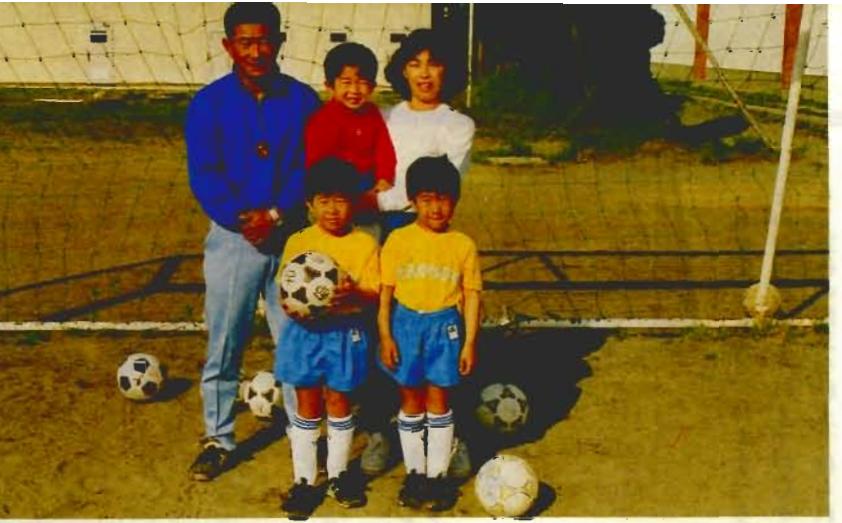
就職で、千葉市から房州へきました。館山に来たのは結婚ですからですね。

仕事は保母なんです。私が子供が好きで、小さい頃からあこがれいました。ただ、今の職場は、勤務時間がちょっと違つて、帰りが遅いんです。だから、子供のことは、おばあちゃんにまかせっきり…。でも、家族みんなが理解してくれますから、仕事とバレーボール、子育てもなんとか続けていけそうです。

今まで、辛いことなんかなかったです。バレーボールで汗を流せば、いやなことは忘れちやいます。生まれつき楽観的で、夫さつぱですから。あたりまえのことかも知れま



婦人スポーツクラブ那古チームのみなさん



せんが、毎日、子供の顔を見て暮らせることが、うれしいですね。子供たちは、サッカーに夢中、元気でのびのび育つてほしいですね。だって、こんなにいい環境の中で暮らしているんですね。子供たちが大きくなつて、一緒にスポーツができたら楽しいだろうなと思います。

でも子供と一緒に遊べる、室内運動場のようなところですね。いつも「他人の気持ちになつて物事を考えろ」「向上心を忘れな」と、自分に言い聞かせています。子供たちが見ていますから。

PROFILE
高木ひろみさん (33歳)
千葉市出身の地方公務員。
学生時代はバレーボールの選手。現在は、婦人スポーツクラブで活躍中です。

夫の利光さんと夫の母、3人の元気な男の子の6人家族。

陽光輝く初夏の平砂浦海岸は、一面がハマヒルガオの淡紅色の花に彩られる。海岸植物は、市内のいたるところの海岸に、見られたものである。しかし今では、昔ながらの種生が残っているのは西岬、神戸、富崎だけである。海岸の砂浜に咲く植物を開花順にあげると、早春には植物群落の最後方に、ハマダイコンが淡紅色の花を咲かせる。続いで砂浜の最前線にコウボウムギの群落が花穂をつけた。時を同じくして、ハマエンドウが植物群落の後方に紅紫色の花を一面に咲かせる。これに後れてコウボウムギの群落と共生するハマイチヨウが黄色の可憐な花を咲か

せる。さらに後れて5月に入ると、ハマヒルガオが花盛りを迎える。この後、ミコノシタが団塊状に黄色の花を咲かせる。これららの海岸植物は、海岸線に平行して帯状に棲み分け、一本のラマを演出している。海岸植物の多くは、長い地下茎で砂浜を這つたり、地下深く根を下ろす。葉は肉厚で強い日射、乾燥、飛砂、海岸特有の潮風など厳しい環境にうまく適応している。この外、60余種の海岸植物が、四季折々に私たちの目を楽しませてくれるのである。(Y)

初夏の海岸植物



これから2カ月くらいは楽しめる平砂浦海岸のハマヒルガオ群落



見
つ
め
て
み
よ
う
観
て
み
よ
う

だん暖たてやま

5

広報/たてやま

平成4年5月号(毎月15日発行) No.494

発行/館山市役所市長公室 〒294 館山市北条1145-1

電話 22-3111

●5月1日の人口/総人口54,450(+7)
男26,221(-1) 女28,229(+8) 世帯数19,639(+98)
()内は前月比

再生紙



クリーン&ビューティーフィル運動

地域ぐるみで 花壇づくりや清掃

相川孝さん(安東)



もうすぐ一斉清掃の日ですね。田植えも一段落していますし、みんなで参加しますよ。

このほか、年に数回は区民総

出で、青年館などの掃除をするんです。自分たちが住んでいるところですからね……。

青年館花壇コンクールでは、2年連続で最優秀賞に選ばれました。わたしが種をまいて、婦人部のみなさんが植えてくれます。残った苗は、持ち帰って庭に植えますから、各家庭に花が増えていますね。花は心がなごみますし、楽しいものです。

それに、なにより花壇づくりや清掃を通じて、人間関係が良くなることがうれしいです。

花のまちづくり

合併処理浄化槽の普及に努力してきました。今年度は、公共下水道計画も第1期事業がスタートします。

しかし、これらの事業はすぐに結果が出てくるものではありません。

C & B運動を機会に、一人ひとり、身近なところから净化対策を進めましょう。

「花の輪を、まちに、家庭に、

心にも」と願い、花のまちづくり運動を進めています。

公共施設への花の植栽をはじめ、地域の各種団体や民間ボランティア「花の輪会」を中心とした、花のまちづくり運動の推進組織を育成し、市民の手によるシンボル花壇や地区花壇の美化を積極的に進めます。

バーベナテネラを希望家庭に配付するなど、花のまちづくり運動が、身近なものになるようになります。

安心して暮らせる、住みよいまちづくりには、環境美化だけではなく、暴力団に代表される暴力の排除も欠かせません。

この運動は、環境美化、河川浄化、花のまちづくり、暴力追放の4つを柱にしています。

清潔で美しいまちづくりを実現するため、昭和62年度から始めたクリーン・アンド・ビューティフル(C & B)運動へ、みんなの積極的な参加をお願いします。

新聞、雑誌、ダンボールは古紙回収に



古紙は指定の回収日に

ごみの減量と 再資源化に成果

市では新聞、雑誌、ダンボールなどの古紙は、通常の燃せるごみとは、別に回収しています。

回収された古紙は、この「広報」のように再生紙として生まれ変わります。このように、古紙は貴重な資源なのです。

古紙は、決められた回収日に、新聞、雑誌、ダンボールに分け

て東ね、午前8時30分までに指

定された搬出場所に出してください。

ところで、古紙の回収日はございません。ごみ回収の実績があがっています。

古紙回収の実績があがっています。平成3年度は、新聞紙362トン、雑誌313トン、ダンボール56トンの合計731トンが回収できました。これは対前年度比で230トン、46.2%増えていることになります。

古紙回収は、ごみの減量と資

源の再利用を目的に、2年前に始まりました。その結果、これ

まで毎年増え続けていた燃せる

まだ多い紙類

清掃センターに持ち込まれた、ごみの組成分析によれば、平成2年度は年間平均で48.41%と半分近くを紙類が占めています。しかし、昨年度は36.34%と飛躍的に減少しています。

しかし、清掃センターの焼却炉では、まだ紙類が多すぎます。紙類は高温を発生し、焼却炉をいためます。そのため少しずつしか燃せません。

古紙の回収が、焼却炉の延命と効率を高めるのです。なお一層のご協力をお願いします。

清潔で美しいまちづくりに

クリーン&ビューティフル運動

健康で、文化的な生活が送りたい。安心して暮らせる、住みよいまちにしよう……。

そんな市民の願いから始まった、「クリーン・アンド・ビューティフル運動」。

今年も環境美化、河川浄化、花のまちづくり、暴力追放の4つを柱に、市民と行政が一体となって積極的に展開します。清潔で美しいまちづくりを実現できるのは、私たち一人ひとりの力です。



このきれいな海を子供たちに譲ろう

この運動は、環境美化、河川浄化、花のまちづくり、暴力追放の4つを柱にしています。

清潔で美しいまちづくりを実現するためには、このまちに住む私たち一人ひとりが、自分の力の排除も欠かせません。



汐入川下流に完成した排水処理施設

今年も、5月20日から6月5日までを春の強調週間とし、コ

ミニティ連絡協議会、町内会

連合協議会、商工会議所、観光

協会などと共同して実施します。

散乱ごみの一斉清掃や各家庭

での大掃除の実施、ごみのノーボイ運動、不法投棄防止キャンペー

ンなどと共同して実施します。

意識を高めようと、春と秋に設定されました。

「まちを愛する週間」

「まちを愛する週間」は、市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めようと、春と秋に設

定されました。

今年も、5月20日から6月5日までを春の強調週間とし、コ

ミニティ連絡協議会、町内会

連合協議会、商工会議所、観光

協会などと共同して実施します。

散乱ごみの一斉清掃や各家庭

での大掃除の実施、ごみのノーボイ運動、不法投棄防止キャンペー

ンなどと共同して実施します。

意識を高めようと、春と秋に設

定されました。

今年も、5月20日から6月5日までを春の強調週間とし、コ

ミニティ連絡協議会、町内会

連合協議会、商工会議所、観光

協会などと共同して実施します。

意識を高めようと、春と秋に設

館山市公共下水道計画 第1期事業がスタート

市では、昭和63年度から館山市公共下水道計画を進めてきました。

これは、館山市の大切な財産であり、まちづくりの特色ともなる、きれいな海や河川を守り、快適で過ごしやすい居住環境をつくるよう

この計画の第1期事業(北条地区の約98ha)が、知事の認可を受け、今年度からスタートします。

市民生活への影響が最小限になるよう

説明会などを行なながら、事業を進めていきます。



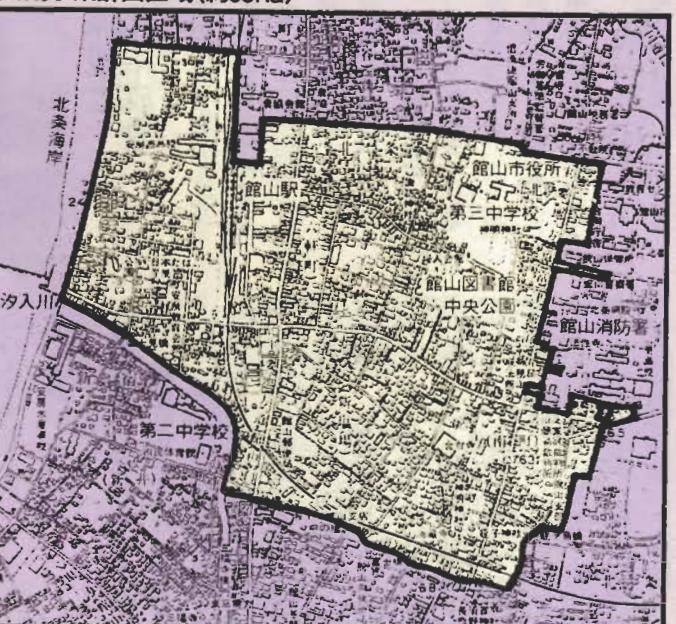
北条地区の98haが認可に

市では、これまでに、きれいな河川や海を守り、快適な居住環境をつくるために、市街地を中心とした、約119.7haにおよぶ下水道の基礎調査や基本計画、事業計画の策定の作業を進めました。

また、終末処理場用地(約4ha)は、富士ディーゼル跡地を含む平久里川左岸が最適地と判断し、話し合いを続けてきた結果、地権者の同意が得られました。

このため、今年の2月24日に都市計画決定し、3月10日には第1期事業(北条地区約98ha)

第1期事業計画区域(約98ha)



平成11年度に一部供用開始予定

第1期事業計画区域の約98haについては、今年度実施設計などをを行い、平成5年度から工事を開始する予定です。平成11年度末には、終末処理場の一部も建設し、公共下水道が使えるよう事業を進めています。

終末処理場は、現在の進んだ

技術により、環境対策を十分に施すことで、臭いも外に出ませんし、清潔で明るい施設です。市の進めている南欧風のまちづくりに合う建物を配置し、軽いスポーツもできる公園的な場所にすることを考えています。

下水道工事は、道路の地下に下水管を埋設するため、市民のみさんに不便をかけることもあります。今後は、これらの問題も含め、説明会などを行ないながら、事業を進めていきます。

みなさんのご協力をお願いします。



「市民のひろば」への
投稿をお待ちします。
毎日の暮らしのヒント、身近な意見などを
400字以内にまとめてお送りください。
電話でもけっこうです。
あて先は、北条1145-1、
市役所市長公室広報係です。

6月の城山公園茶室の雁月庵月釜は28日(日)です

みなさんはお気軽にどうぞ

館山市茶道連盟

桜の花の舞う中で、野点はとても幻想的ですね」と参加者。

好天に恵まれた先月12日、第1回の市民茶会が、館山市茶道連盟の協力で、城山公園内の日本庭園と茶室で行われました。家族連れの市民や観光客470人が参加、伝統のお茶を楽しみました。

茶道連盟では「多くのみなさんに気軽に茶を楽しんでいただき、日本の伝統に触れていたいのですね」と毎月行われる月釜への多くの市民の参加を呼びかけています。



きれいに使ってね 北条海岸トイレ完成

北条海岸に完成したスペイン風の公衆トイレが先月2日、使用できるようになりました。

当時はオープニングセレモニーが行われ、初夏の海を楽しもうと、市内外から訪れた若者達が、さっそくこのトイレを利用。「便利だしきれいなので、ありがたいですね」と話していました。

このトイレは、地域リーダー育成事業の第1期のメンバー9人が調査を重ね、アイデアを出し合いながら完成させたもの。「窓から見える鏡ヶ浦の景色は、まるで風景画のよう。大切にしたいですね。」とメンバーの1人。

